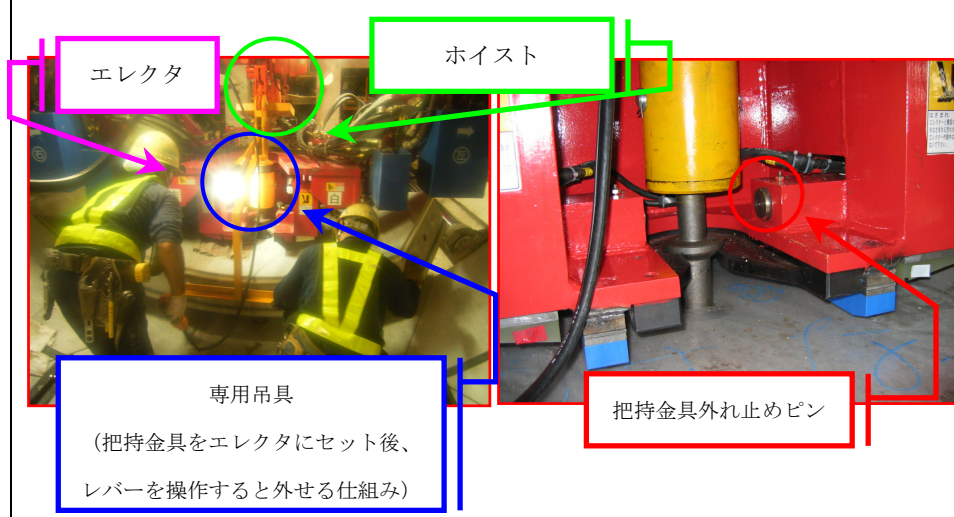


No.・区分	10210	ハード部門(土木)
タイトル	シールド工事におけるセグメント空中受渡し装置の採用によるセグメント組立作業の安全性向上	
動機・改善前の状況	従来の RC セグメント組立作業では、搬送装置でセグメントピースを切羽に運搬後、一旦マシンのインバート部にセグメントを仮置きし、ピン式の把持金物を搬送装置のフックから外し、エレクターの把持装置の穴にピンを付け替えてセグメントを把持し、組立を行っていた。このセグメント組立作業は、切羽部の狭い場所での作業となるため、挟まれ・巻き込まれ災害が発生した事例も多く、出きるだけ人が介する作業を省き、安全性の向上と工程短縮できる方法を検討した。	
改善・実施事項	セグメント把持金具を 2 段つば式の把持金物とし、そのつば部分を引っ掛けて掴むセグメントを吊る治具を製作し、上部のつばを搬送装置に取付けた吊治具が掴みエレクターの把持部分までセグメントピースを搬送する。そして、下部のつば部分をエレクターの把持装置に預けて、搬送装置を後退させる事により、セグメントの空中受渡しができる。	
改善効果	エレクタに自動ボルト締結装置を装備した事もあり、セグメント組立作業時には、マシン内部に人が立入る必要が無くなり、セグメント組立作業の安全性の向上と工程短縮が図れた。	
活動内容 改善事項の図、 写真		

Good Practice!